


# バス路線再編案の検討について

## コミュニティバスの運行目的に関する検討

### 01 ちゅうバスの導入目的



**<ちゅうバスの導入目的>**

- ①利用したくなるバスを導入することにより公共交通機関の利便性を向上させる
- ②移動に制約を伴っている方々の社会活動機会の増大に寄与する
- ③市中心部の買物施設・公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与する

#### 検討の方向性

当初の導入目的を踏襲した運行目的とする。

### 02 地域公共交通計画におけるちゅうバスの評価・課題

#### 導入目的の評価と残された課題

**導入目的①：利用したくなるバスを導入することにより公共交通機関の利便性を向上させる**

市民アンケート結果における公共交通等への満足度を見ると、「満足」と「やや満足」を合わせると約54パーセント、「不満」と「やや不満」を合わせると約17パーセントとなっており、公共交通等の満足度は相対的に高い結果となっています。

**導入目的②：移動に制約を伴っている方々の社会活動機会の増大に寄与する**

ちゅうバスの利用者の多くは、高齢者、運転免許非保有者となっており、ちゅうバスは移動制約者等の移動手段を確保しており、社会活動機会の増大に寄与している状況が伺えます。

**残された課題①：一部の移動ニーズに対応できていない運行**

- ・高齢者や運転免許非保有者等の移動制約者の日常生活の移動実態を見ると、府中駅周辺以外への移動も見られます。例えば、日用品の買物では、地区内や自宅近くの施設や最寄り駅（武蔵野台駅、東府中駅、中河原駅など）周辺への移動が見られます。
- ・ちゅうバス（四谷六丁目ルートを除きます。）の運行ネットワークは府中駅に向いているため、最寄りの目的地に移動したいというニーズに一部対応できていない状況が生じています。

**導入目的③：市中心部の買物施設・公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与する**

ちゅうバスの利用目的や目的地を見ると、府中駅及び府中駅周辺の中心部への買物等のニーズに対応できており、市中心部へのアクセス性の向上及びまちづくりに寄与している状況が伺えます。

**残された課題②：ルートの長大化による利便性の低下**

- ・細かなルート設定により、運行ルートが長大となっており、市中心部への遠回りが発生しています。

#### 新たな課題

**新たな課題①：鉄道、路線バス及びちゅうバスの重複区間が存在**

・鉄道、路線バス及びちゅうバスの重複区間のうち、ちゅうバスの利用が多い区間では、鉄道、路線バスからちゅうバスに利用者が流れている可能性があります。また、ちゅうバスの利用が少ない重複区間では、ちゅうバスの経路設定が非効率であることが考えられるため、ニーズに応じた効率的な役割分担が必要です。

**新たな課題②：市内のバス交通のサービス水準及び運賃に格差が発生**

・ちゅうバスは一律100円で利用できるため、路線バスとの運賃に格差が発生しています。一方、ちゅうバスのみが運行しているエリアは、路線バスが運行しているエリアに比べると利便性が低い状況です。

**新たな課題③：ちゅうバス運行経費の増加**

・ちゅうバスの利用者は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるまで増加傾向にありましたが、感染拡大後に利用者数、運賃収入が減少し、運行経費は増加傾向にあることから、収支率が低下しています。

・運行経費の増加要因は、人件費、燃料費等の値上がりによるもので、全国的なドライバー不足、原油価格の高騰が背景にあることから、ちゅうバス事業の安定的な運行に当たり、運賃体系を含めた検討が必要となっています。

#### 検討の方向性

残された課題・新たな課題を踏まえて修正を検討する。

# コミュニティバスの運行目的に関する検討

## 03 総合計画及び基本的な方針との整合

基本施策 4-1 快適で住みやすいまちづくりの推進

施策58

### 公共交通の利便性の向上

#### 府中市地域公共交通計画の基本的な方針

=本市の地域公共交通のあるべき姿

#### 誰もが自由に移動ができる



交通弱者の移動が確保された公共交通  
若者や子育て世代も移動しやすい公共交通  
来訪者も円滑に移動できる公共交通

#### まちづくりと連携した



福祉や観光などの他分野と連携した公共交通  
まちの変化や新たな拠点と連携した公共交通  
デジタル技術の発展と連携した公共交通

#### 持続可能な地域公共交通



財政負担が適正化された公共交通  
市民、事業者等と協働でつくる公共交通  
脱炭素社会の実現に寄与する公共交通

#### 検討の方向性



計画との整合を踏まえ、**総合計画及び基本的な方針**に合わせて、**ちゅうバスの目的を整理**する。

**持続性に関する目的を追加**する。

## 04 府中市地域公共交通計画の計画目標との整合

### 計画目標 1 市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する

- 行動目標① 鉄道・路線バス・コミュニティバス等の連携・役割分担により市中心部への移動を確保する。
- 行動目標② 中心部での移動のしやすさ、回遊性の向上を図る。

### 計画目標 2 地区内における生活・移動をより便利にする

- 行動目標① 地区内の交流や経済活動の促進及び移動手段の充実を図る。
- 行動目標② 公共交通が不便なエリアにおける最適な移動手段を検討する。

### 計画目標 3 地区間や市内外への移動の利便性を維持・向上する

- 行動目標① 交通結節点での各モード間の連携・接続を図る。
- 行動目標② 隣接市との連携による市外への買物等の利便性向上を図る。
- 行動目標③ 市内の主要拠点へのアクセス性向上を図る。

### 計画目標 4 年齢やライフステージ、身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする

- 行動目標① あらゆる市民への最適な交通サービスを提供する。
- 行動目標② まちづくりや福祉分野との連携を図る。

### 計画目標 5 誰もが安心・快適に移動できるようにする

- 行動目標① 公共交通におけるバリアフリー化を推進する。
- 行動目標② 安全・安心で分かりやすく快適な交通環境を提供する。
- 行動目標③ デジタル技術の活用により、公共交通サービスの利便性の向上を図る。

### 計画目標 6 交通サービスを将来にわたり提供できるようにする

- 行動目標① 財政負担とサービス充実の両立を図る。
- 行動目標② 厳しい経営状況に置かれている地域公共交通の中長期的なサービス維持を図る。
- 行動目標③ 脱炭素社会の実現に寄与する公共交通サービスの展開、市民の意識啓発を図る。

#### 検討の方向性



市中心部へのアクセスは、**計画目標1**を踏まえ**効率的・効果的な確保を前提**とする。



# コミュニティバスの運行目的に関する検討

## 05 府中市地域公共交通ネットワーク再編方針との整合

府中市地域公共交通ネットワーク再編方針	
方針1	(基幹交通軸の維持) 鉄道及び1日片道30本以上の路線バスは、既存路線の機能・サービス水準の維持を目指す。
方針2	(重複区間の解消) 起終点、停留所、時間帯等が重複しているバス路線は、再編対象とする。
方針3	(ニーズに合わせた再編) 安全性、採算性及び移動実態を踏まえて課題があるバス路線は、その優先度に応じて再編対象とする。
方針4	(階層による役割分担) 市内の主要拠点や隣接市の鉄道駅等への公共交通の接続を検討する。
方針5	(長大な路線の見直し) 運行距離が長大なコミュニティバスの路線は、市内の最寄り駅まで接続するよう再編を行う。
方針6	(コミュニティバス路線の見直し) コミュニティバスの路線は、各路線が収支率60%以上を確保できるよう再編を行うとともに、収支率が向上する範囲で、路線毎に利便性の向上を検討する。
方針7	(コミュニティバス運賃の見直し) コミュニティバスの運賃は、利用者数の目標値及び一般路線バスの運賃水準を考慮し、市の補助金額の適正化に資する運賃設定を検討する。
方針8	(コミュニティバスの一般路線化) 路線バスとして運行が可能なコミュニティバスの路線は、一般路線化を検討する。
方針9	(新たな移動手段の検討) 新たな移動手段は、既存の公共交通だけでは課題を解決できない場合に限り、補完的な手段として導入を検討する。
方針10	(基本的な方針の実現に向けた見直し) ネットワーク再編の内容は、再編後の状況と基本的な方針の実現状況に応じて、適宜見直しを行う。



**検討の方向性**

方針4、5を踏まえ、**主要拠点等、最寄り駅接続の必要性を整理する。**

# コミュニティバスの運行目的に関する検討

## 再編後のコミュニティバス運行目的(案)

### 検討の方向性

当初の導入目的を踏襲した運行目的とする。  
 残された課題・新たな課題を踏まえて修正を検討する。  
 計画との整合を踏まえ、総合計画及び基本的な方針に合わせて、ちゅうバスの目的を整理する。  
 持続性に関する目的を追加する。  
 市中心部へのアクセスは、計画目標1を踏まえ効率的・効果的な確保を前提とする。  
 方針4、5を踏まえ、主要拠点等、最寄り駅接続の必要性を整理する。



- 第7次府中市総合計画 1 | 地域公共交通の利便性の向上に寄与する
- 誰もが自由に移動ができる 2 | 移動に制約を伴っている方々のニーズに対応し、社会活動機会の増大に寄与する
- まちづくりと連携した 3 | 市中心部・最寄り駅・主要拠点等へのアクセス性を効率的・効果的に高め、まちづくりに寄与する
- 持続可能な地域公共交通 4 | 他の公共交通と連携し、市内の地域公共交通の持続可能性に寄与する

## 再編案の提示

### 01 前提条件

- ちゅうバスの運行台数は、上限17台とし、現行路線の利用者数に応じて分配する。
- ちゅうバスの府中駅接続は、時間帯を分けて暫定的に残す。
- 維持困難路線を統合するちゅうバスは、サービス水準の低下が見込まれる。

### 02 再編後のコミュニティバス運行目的(案)

- 1 | 地域公共交通の利便性の向上に寄与する
- 2 | 移動に制約を伴っている方々のニーズに対応し、社会活動機会の増大に寄与する
- 3 | 市中心部・最寄り駅・主要拠点等へのアクセス性を効率的・効果的に高め、まちづくりに寄与する
- 4 | 他の公共交通と連携し、市内の地域公共交通の持続可能性に寄与する

### 03 再編案の提示

事務局における課題対応への検討、事業者部会での審議、バス事業者との個別協議を経て、前提条件及び再編後のコミュニティバス運行目的(案)を整理し、次のとおり時間帯に応じて変更する2つの路線案を作成した。  
 なお、時間帯や具体的な停留所の位置などは、今後詳細を検討するものとする。

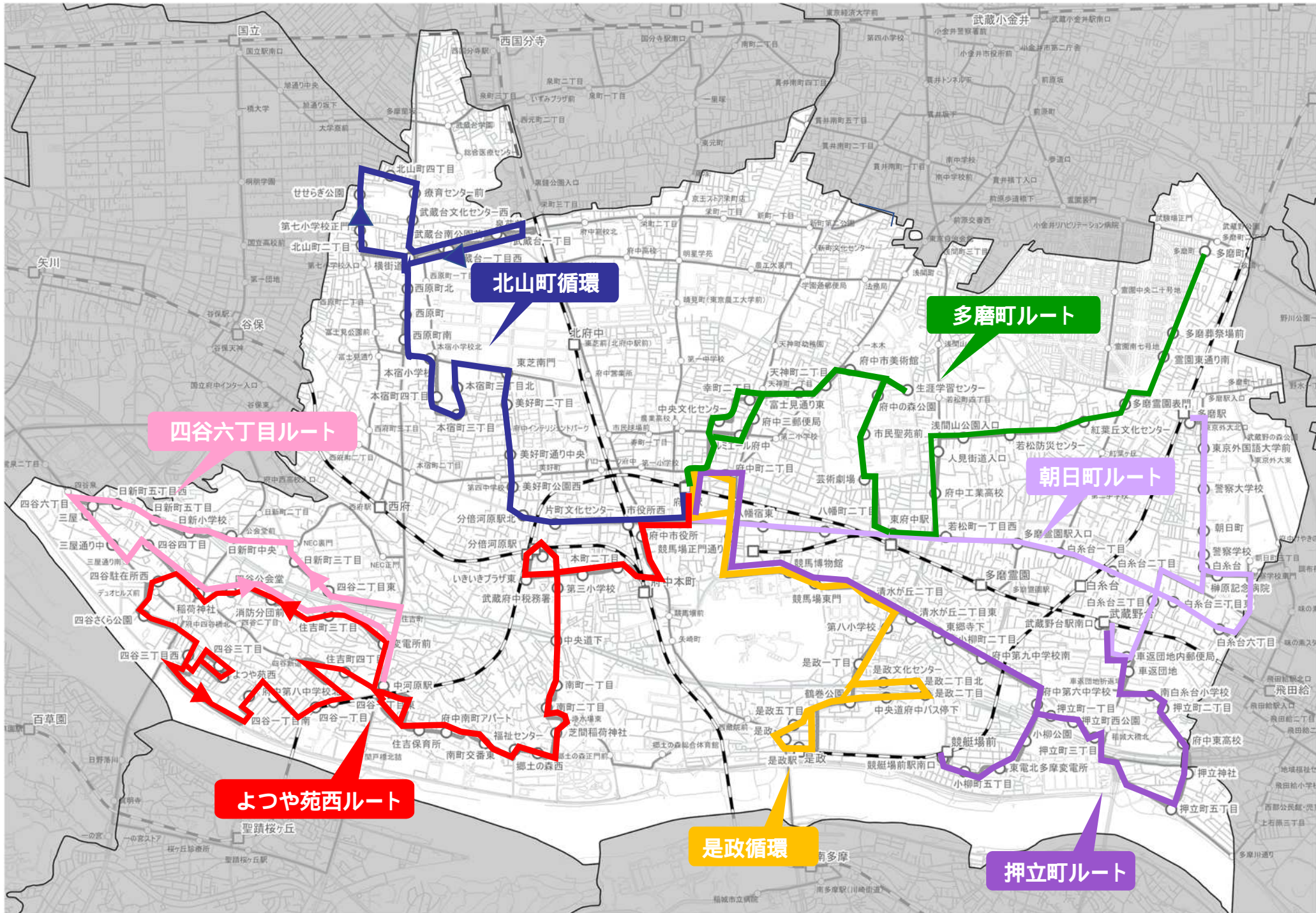
#### 最寄り駅接続

…再編方針に基づき、公共交通ネットワークの役割分担を前提として最寄り駅接続を中心とした路線案

#### 府中駅接続

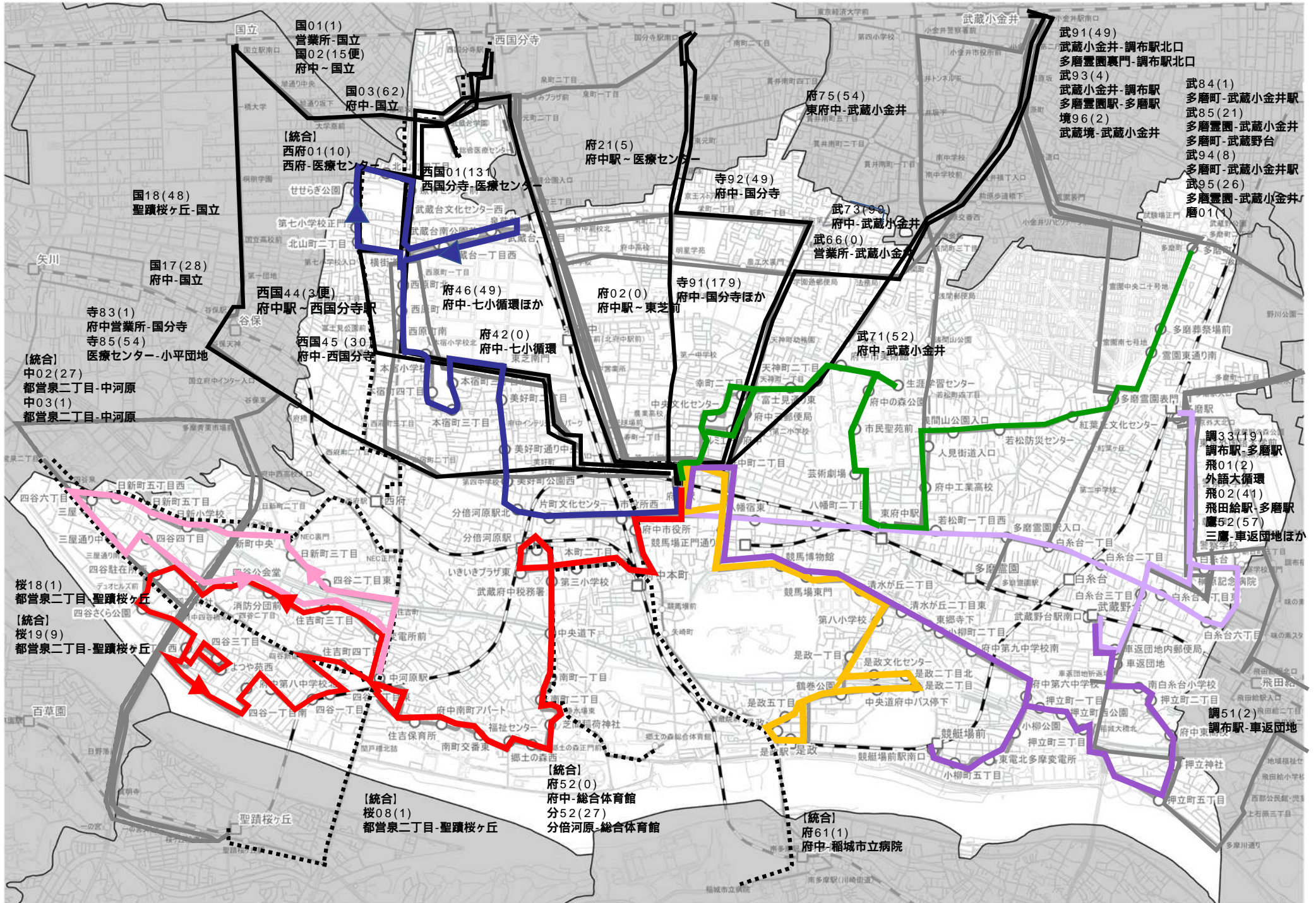
…現行の利用状況を踏まえ、暫定的に府中駅への接続を維持した路線案



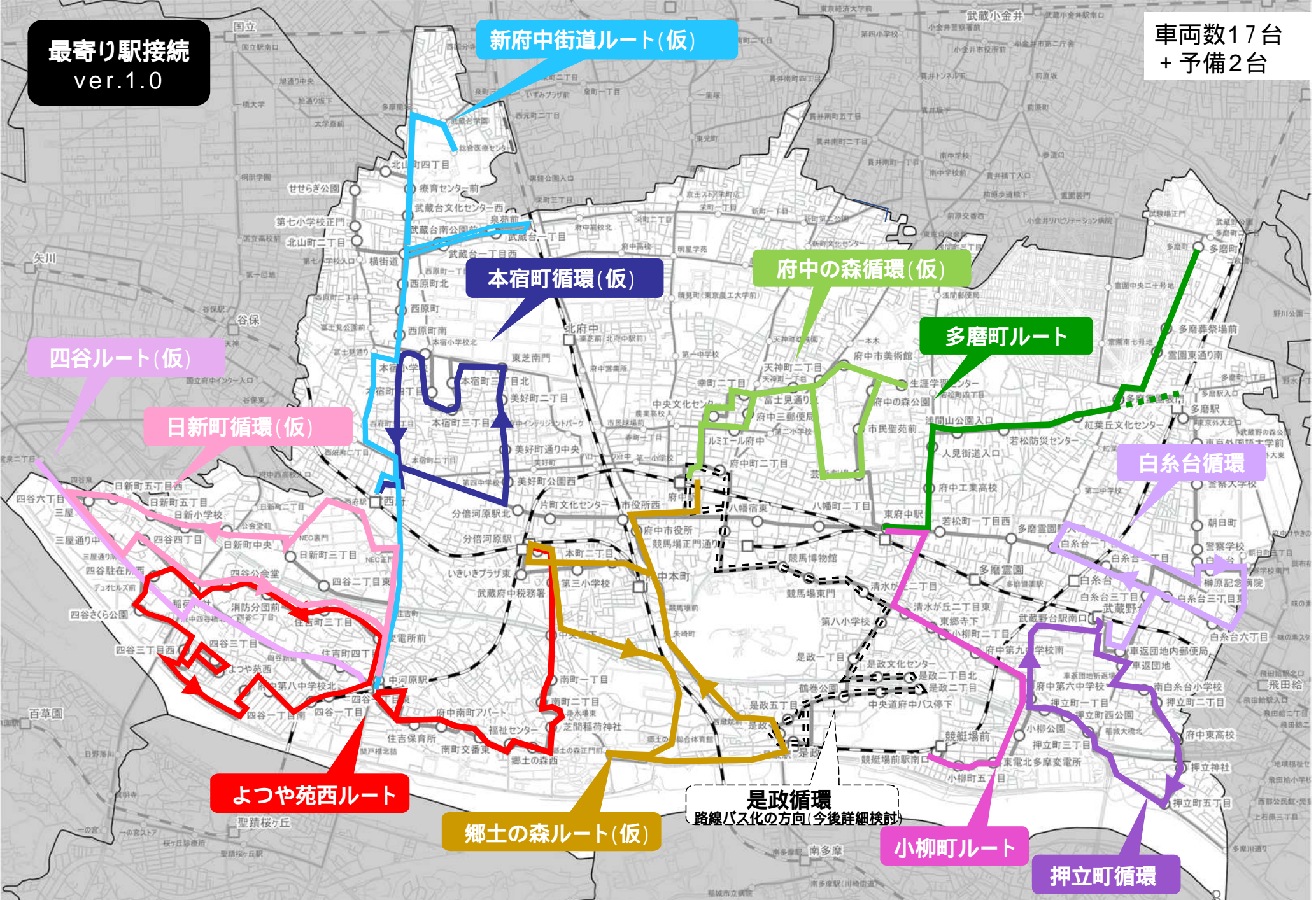




# 現状のバスネットワーク路線図







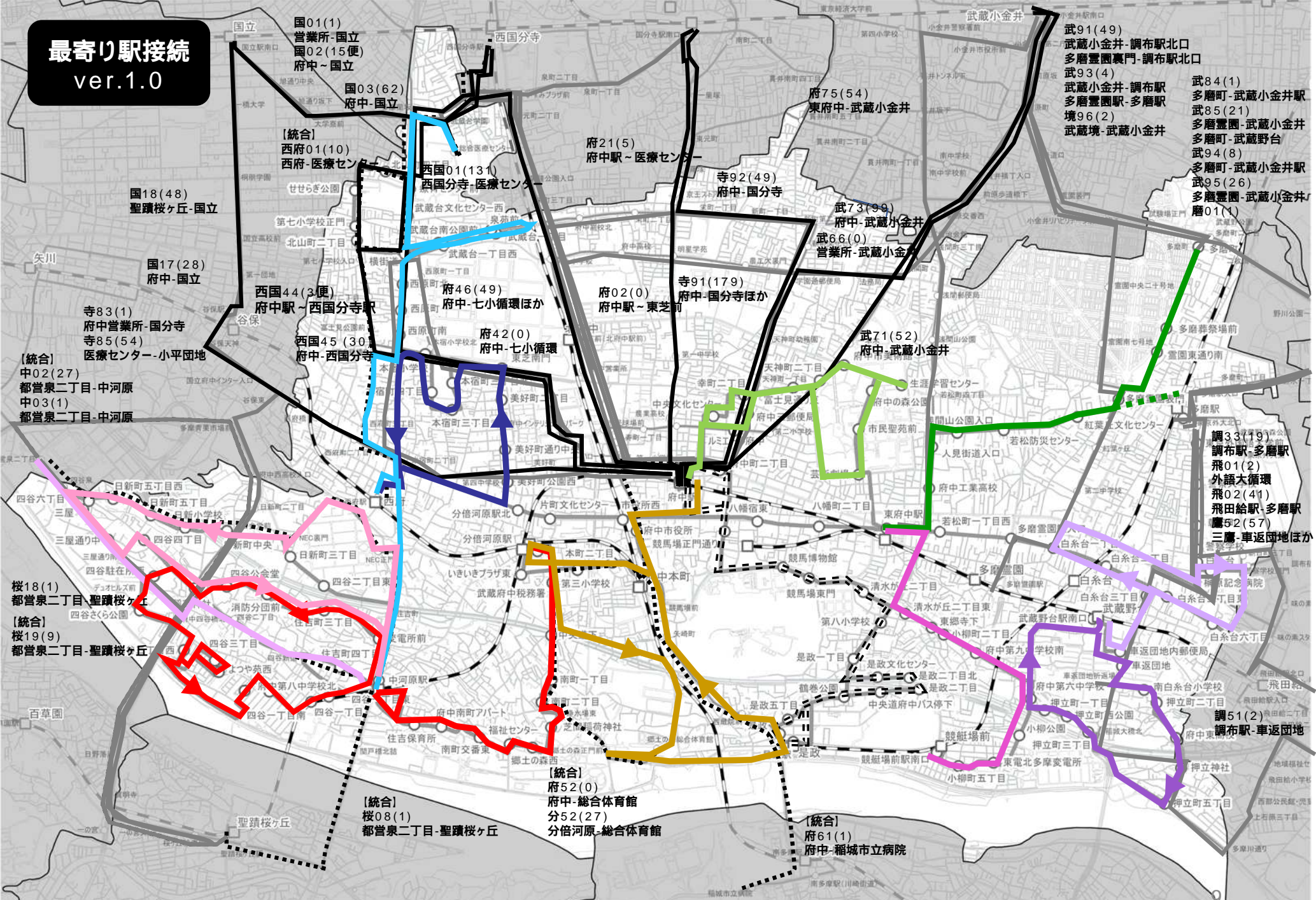
**最寄り駅接続**  
ver.1.0

車両数17台  
+ 予備2台

上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。新規の路線については、関係機関との協議結果や、実証期間を設定する場合にはその結果により、運行できない可能性があります。



# 再編後バスネットワーク路線図 最寄り駅接続 **【令和6年3月時点たたき台】**



上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。  
 路線バスの経路・便数 / 1日については、令和6年4月1日時点のものです。

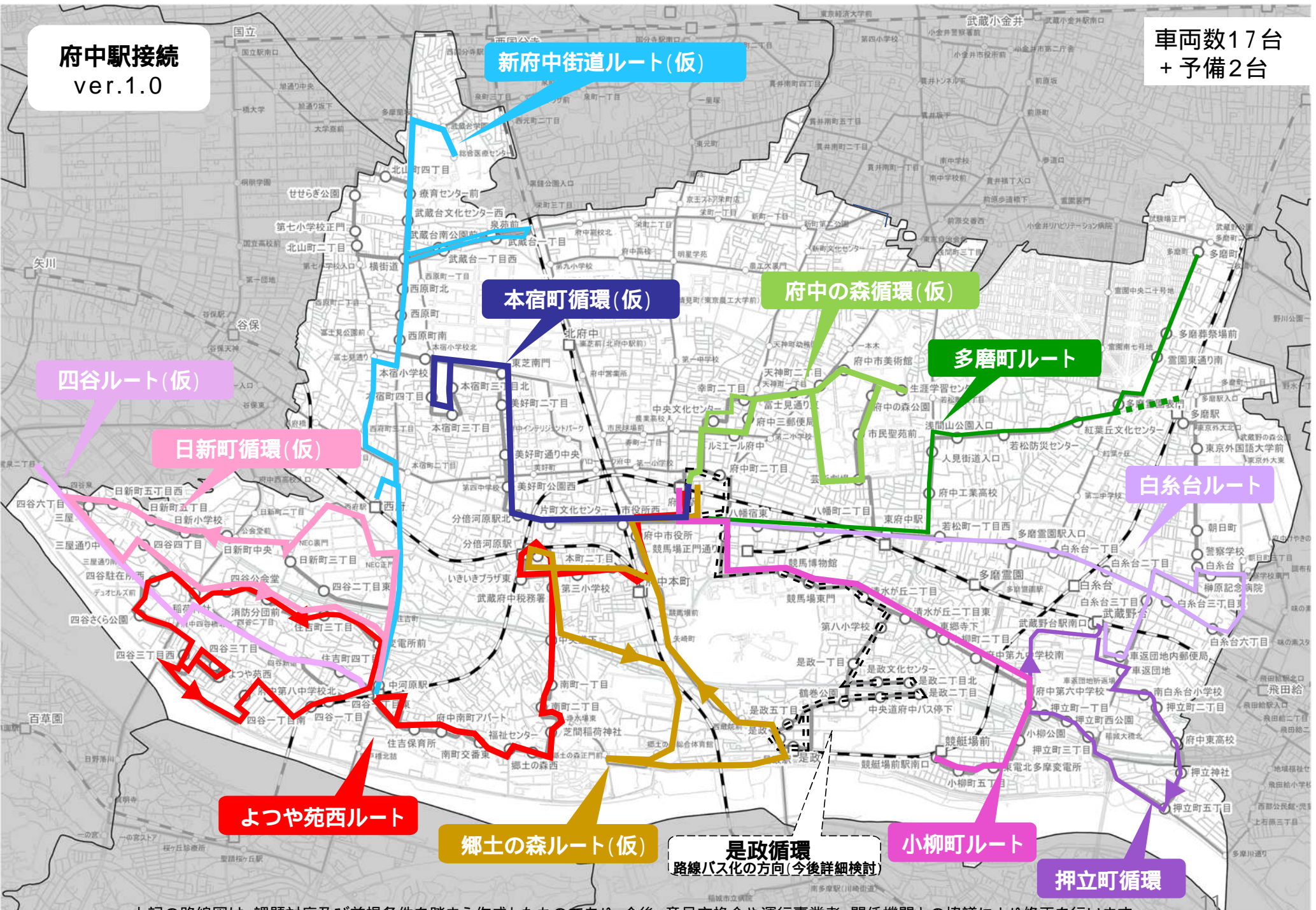
		運行間隔	路線延長 (往復)	所要時間 (往復)	折待時分 (往復)	主な停留所	車両数	
現 行 ル ー ト	多磨町ルート	30分間隔	13.5km	82分	28分	府中駅 生涯学習センター 東府中駅 多磨町	3台	
	北山町循環	30分間隔	11.9km	54分	15分	府中駅 片町文化センター 西原町 武蔵台文化センター西	3台	
	是政循環	30分間隔	8.1km	39分	21分	府中駅 第八小学校 是政文化センター 是政駅	2台	
	南町・四谷 循環	よつや苑西ルート	30分間隔	16.7km	91分	20分	府中駅 府中市役所 中河原駅 よつや苑西	3台
		四谷六丁目ルート	30分間隔	5.8km	25分	5分	中河原駅 四谷六丁目 三屋通り中 中河原駅	1台
	押立町・朝日町 循環	押立町ルート	30分間隔	16.8km	76分	19分	府中駅 競艇場前駅南口 武蔵野台駅南口	3台
		朝日町ルート	30分間隔	15.8km	76分	23分	府中駅 武蔵野台駅南口 榊原記念病院 多磨駅	3台
			88.6km	443分	131分		18台	

		運行間隔 (目標)	路線延長 (往復)	所要時間 (往復)	折待時分 (往復)	主な停留所	車両数
再 編 ル ー ト ( 最 寄 り 駅 接 続 )	多磨町ルート	車 両 数 に 応 じ て 決 定	7.2km	40分	20分	東府中駅 紅葉丘文化センター 多磨町	需 要 に 応 じ て 配 分
	府中の森循環(仮)		5.9km	27分	15分	府中駅 府中市美術館 生涯学習センター 芸術劇場 府中駅	
	本宿町循環(仮)		4.6km	23分	15分	西府駅 美好町公園西 本宿小学校 西府駅	
	新府中街道ルート(仮)		11.0km	54分	20分	中河原駅 西府駅 多摩総合医療センター	
	郷土の森ルート(仮)		9.1km	44分	20分	府中駅 府中市役所 分倍河原駅 郷土の森総合体育館 是政 府中駅	
	よつや苑西ルート		12.9km	68分	20分	分倍河原駅 中河原駅 四谷苑西 中河原駅 分倍河原駅	
	日新町循環(仮)		6.3km	27分	15分	中河原駅 西府駅南 日新小学校 四谷六丁目 三屋通り中 中河原駅	
	四谷ルート(仮)		6.4km	32分	20分	中河原駅 三屋通り中 都営泉二丁目	
	押立町循環(仮)		4.7km	24分	15分	武蔵野台駅南口 府中東高校 府中第六中学校 武蔵野台駅南口	
	小柳町ルート(仮)		6.2km	28分	20分	東府中駅 第九中学校南 競艇場前駅南口	
	白糸台循環(仮)		5.0km	25分	15分	武蔵野台駅南口 榊原記念病院 白糸台一丁目 武蔵野台駅南口	
			79.3km	392分	195分		上限17台

所要時間は、経路検索で算出した移動時間に停車時間等として5分を加えた値としています。

乗務員の休憩や遅延吸収のための折待時間として、循環では15分、ルートでは20分を設定しています。





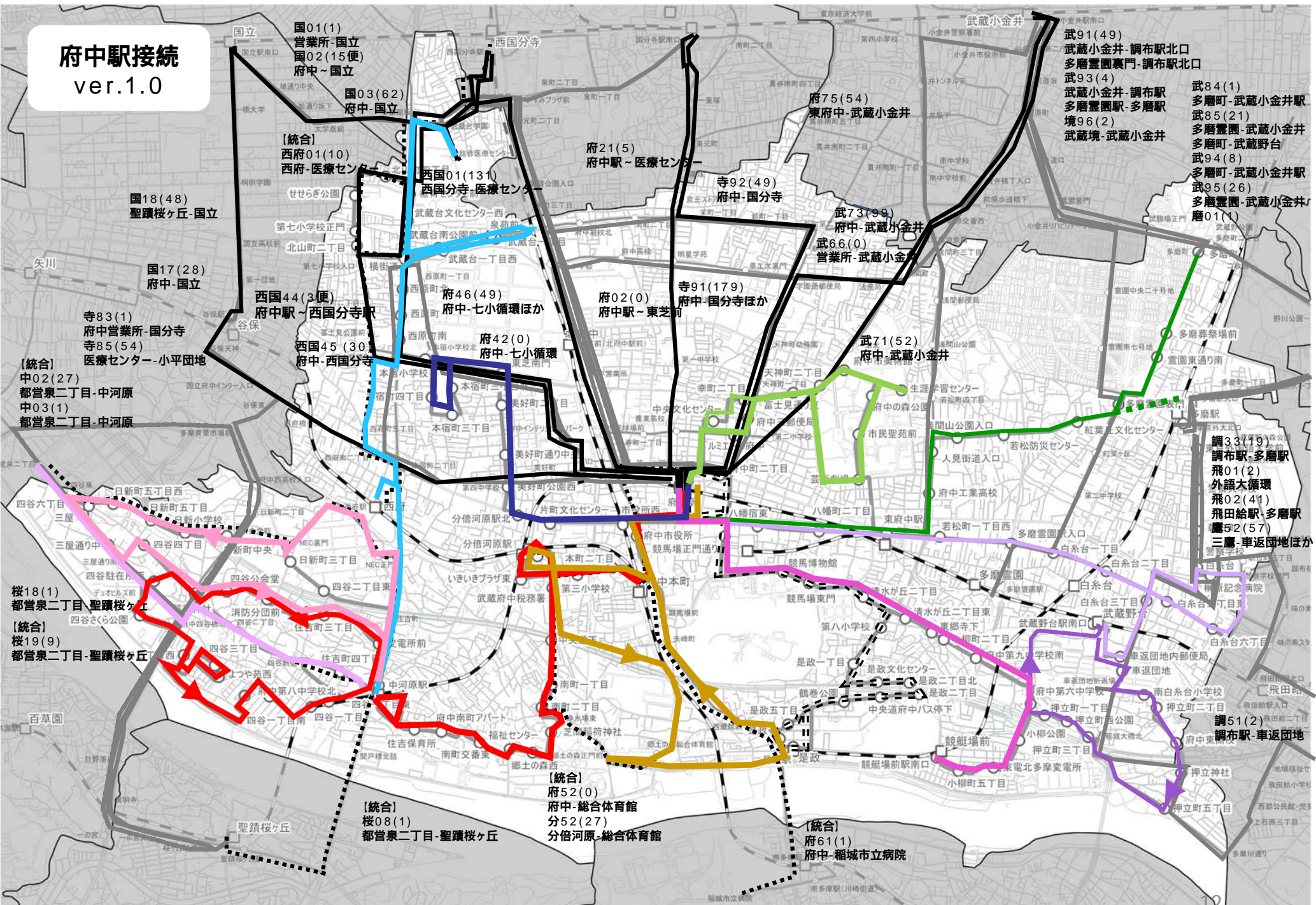
車両数17台  
+ 予備2台

上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。新規の路線については、関係機関との協議結果や、実証期間を設定する場合にはその結果により、運行できない可能性があります。



# 再編後バスネットワーク路線図 府中駅接続 【令和6年3月時点たたき台】

**府中駅接続**  
ver.1.0



上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。  
路線バスの経路・便数 / 1日については、令和6年4月1日時点のものです。



		運行間隔	路線延長 (往復)	所要時間 (往復)	折待時分 (往復)	主な停留所	車両数	
現 行 ル ー ト	多磨町ルート	30分間隔	13.5km	82分	28分	府中駅 生涯学習センター 東府中駅 多磨町	3台	
	北山町循環	30分間隔	11.9km	54分	15分	府中駅 片町文化センター 西原町 武蔵台文化センター西	3台	
	是政循環	30分間隔	8.1km	39分	21分	府中駅 第八小学校 是政文化センター 是政駅	2台	
	南町・四谷 循環	よつや苑西ルート	30分間隔	16.7km	91分	20分	府中駅 府中市役所 中河原駅 よつや苑西	3台
		四谷六丁目ルート	30分間隔	5.8km	25分	5分	中河原駅 四谷六丁目 三屋通り中 中河原駅	1台
	押立町・朝日町 循環	押立町ルート	30分間隔	16.8km	76分	19分	府中駅 競艇場前駅南口 武蔵野台駅南口	3台
		朝日町ルート	30分間隔	15.8km	76分	23分	府中駅 武蔵野台駅南口 榊原記念病院 多磨駅	3台
			88.6km	443分	131分		18台	

		運行間隔 (目標)	路線延長 (往復)	所要時間 (往復)	折待時分 (往復)	主な停留所	車両数
再 編 ル ー ト ( 府 中 駅 接 続 )	多磨町ルート	車 両 数 に 応 じ て 決 定	12.8km	52分	20分	府中駅 東府中駅 紅葉丘文化センター 多磨町	需 要 に 応 じ て 配 分
	府中の森循環(仮)		5.9km	27分	15分	府中駅 府中市美術館 生涯学習センター 芸術劇場 府中駅	
	本宿町循環(仮)		7.1km	33分	15分	府中駅 片町文化センター 美好町公園西 本宿小学校	
	新府中街道ルート(仮)		11.0km	54分	20分	中河原駅 西府駅 多摩総合医療センター	
	郷土の森ルート(仮)		9.1km	44分	20分	府中駅 府中市役所 分倍河原駅 郷土の森総合体育館 是政 府中駅	
	よつや苑西ルート		16.7km	91分	20分	府中駅 分倍河原駅 中河原駅 四谷苑西 中河原駅 分倍河原駅 府中駅	
	日新町循環(仮)		6.3km	27分	15分	中河原駅 西府駅南 日新小学校 四谷六丁目 三屋通り中 中河原駅	
	四谷ルート(仮)		6.4km	32分	20分	中河原駅 三屋通り中 都営泉二丁目	
	押立町循環(仮)		4.7km	24分	15分	武蔵野台駅南口 府中東高校 府中第六中学校 武蔵野台駅南口	
	小柳町ルート(仮)		8.4km	34分	20分	府中駅 第九中学校南 競艇場前駅南口	
	白糸台ルート(仮)		10.4km	50分	20分	府中駅 武蔵野台駅南口 榊原記念病院 白糸台一丁目 武蔵野台駅南口	
				98.8km	468分	200分	

所要時間は、経路検索で算出した移動時間に停車時間等として5分を加えた値としています。

乗務員の休憩や遅延吸収のための折待時間として、循環では15分、ルートでは20分を設定しています。

## 04 西部地域の再編内容

西部地域				
	課題	課題の内容	再編の方向性	再編内容
北西部の再編	重複課題 北山町循環A-D	横街道(府42・府46・西国45) 療育センター前・武蔵台文化センター西(西国45) 北山町二丁目～北山町四丁目(西国45・西府01) 西原町南～西原町北(西国44) 本宿小学校・東芝南門(西国45・府46)	ちゅうバス北山町循環の効率化・ 周辺路線バスとの重複解消	重複課題への対応 路線バス(西国45)を維持し、重複している北山町循環の西原町南～武蔵台一丁目西の区間を廃止。本宿町循環(仮称)に再編。
	長大課題(低) 収支課題(高) 北山町循環	路線延長:11.88km 所要時間:府中駅 武蔵台文化センター 25分/ 府中駅～府中駅 54分 収支率:34%		長大課題への対応 上記区間の廃止に伴い、最寄り駅接続の路線延長は11.88kmから4.6kmに短縮。所要時間は、54分から23分に短縮。
	移動ニーズ課題 西府A・B 片町B	東芝町・西府町・本宿町 立川市 西府町・本宿町 多摩市 美好町 立川市 買物(日用品以外) 最寄り駅まで不便	周辺地域から西府駅に接続	移動ニーズ課題への対応 最寄り駅接続路線では、西府駅北口に接続。
	移動ニーズ課題 住吉B・C	住吉町 西府駅・武蔵台(多摩総合医療センター) 買物(日用品)・通院 乗継ぎが必要かつ遠回りでご不便	中河原駅周辺から西府駅・多摩 総合医療センターへの接続検討	需給課題への対応 府中駅行き需要を踏まえ、府中駅接続路線では、府中駅接続を維持。
	拠点接続	広域医療拠点(多摩メディカル・キャンパス周辺)への接続		移動ニーズ課題 中河原駅、西府駅、多摩総合医療センターを接続する新府中街道ルート(仮称)の設定。
南西部の再編	重複課題 よつや苑西ルートA-D	稲荷神社 中河原駅(中02・桜08) 分倍河原駅～南町二丁目(分52・府52) 府中市役所～第三小学校(府52・府61) 府中駅 中河原駅(京王線)	ちゅうバスよつや苑西ルートの 周辺路線バスとの重複解消・効 率化	重複課題への対応 維持困難路線(中02)を四谷ルート(仮称)に統合。 維持困難路線(中03)を四谷六丁目ルートに統合し、日新町循環(仮)として再編。 維持困難路線(分52、府52)をよつや苑西ルート及び中部の郷土の森ルート(仮称)に統合。それぞれ中型車両の運行が可能が検討。
	長大課題(高) 収支課題(低) よつや苑西ルート	路線延長:16.74km 所要時間:46分 収支率:55%		長大課題への対応 最寄り駅接続路線では、よつや苑西ルートの府中駅～第三小学校の区間を廃止。これにより、よつや苑西ルートの路線延長は16.74kmから12.9kmに短縮。所要時間は、91分から68分に短縮。 西府駅への接続に伴い、四谷六丁目ルートの路線延長は5.75kmから6.8kmに増加。所要時間は、25分から29分に増加。
	重複課題 四谷六丁目ルートA	三屋、三屋通り中(中02・桜08) 日新小学校～四谷六丁目(中03)	四谷六丁目ルート周辺路線バスとの重複解消	収支課題への対応 上記路線延長の短縮に伴い、1年当たりの想定経費が、よつや西ルートでは 万円から 万円に減少、四谷六丁目ルートでは 万円から 万円に減少予定。
	移動ニーズ課題 四谷A	四谷・日新町 西府駅 買物(日用品) 最寄り駅まで不便	周辺地域から西府駅に接続	移動ニーズ課題への対応 四谷六丁目ルートは、西府駅の南側に接続し、日新町循環(仮称)として再編。



## 05 中部地域の再編内容

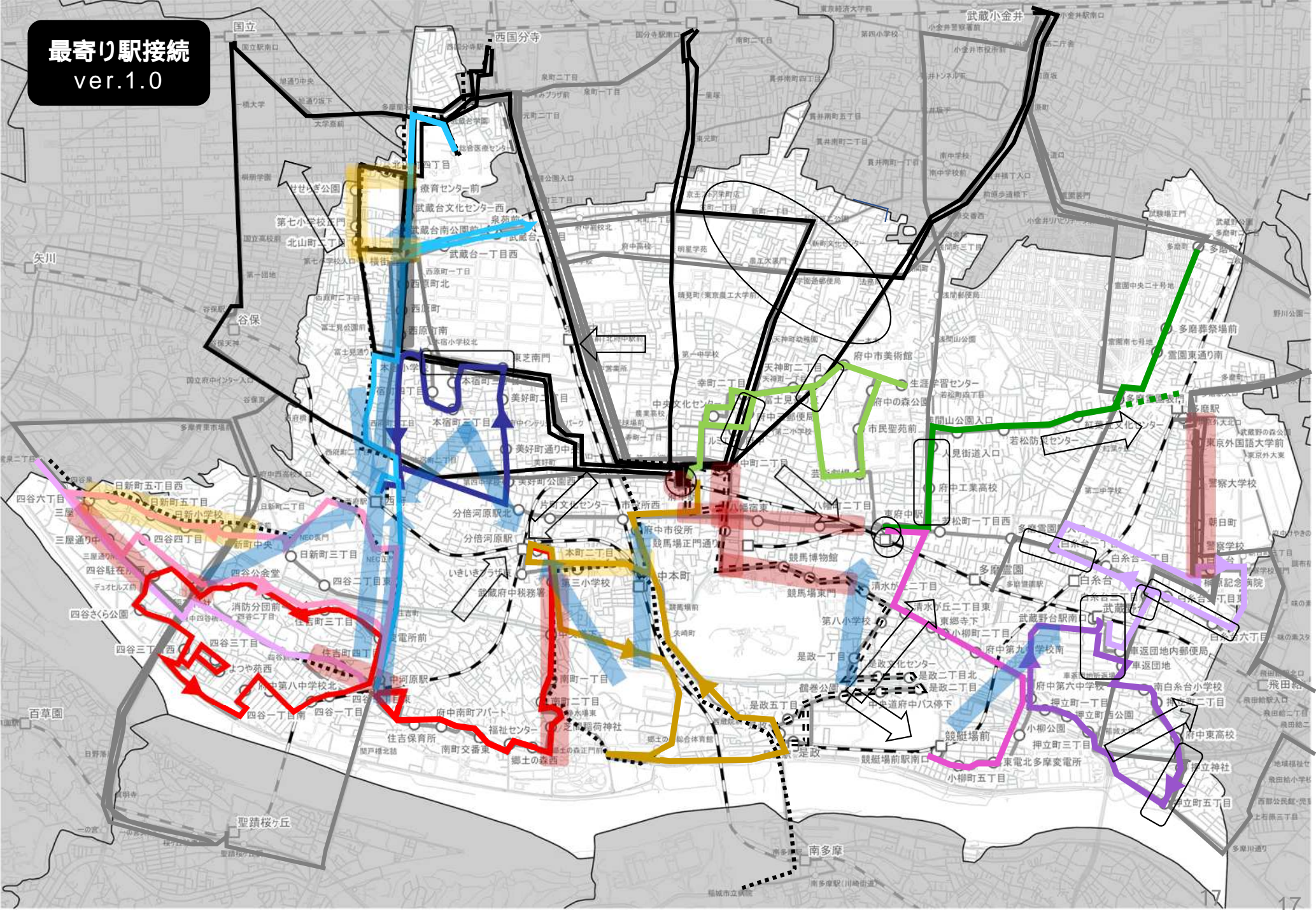
中部地域				
	課題	課題の内容	再編の方向性	再編内容
南部 の 再 編	重複課題 是政循環A・B・C	府中町二丁目(府02・武73・武71・寺91) 始発・ 終着地近辺 是政(府61) 府中駅～清水ヶ丘二丁目(押立町ルート)	ちゅうバス是政循環の一般路線 バス化に関する検討	重複課題への対応 是政循環の一般路線バス化検討。重複している小柳町ルート(仮)の府中駅～清水ヶ丘二丁目の区間は停車せずに運行することや運賃の統一を検討。
	移動ニーズ課題 片町A・D	矢崎町 府中駅・分倍河原駅 買物(日用品)・通院 最寄り駅まで不便(徒歩15分程度)	矢崎町周辺周辺における地区内 交通手段の在り方検討	移動ニーズ課題/拠点接続への対応 府中駅及び分倍河原駅から、矢崎町周辺を運行して郷土の森総合体育館を 接続する郷土の森ルート(仮称)の新設。
	拠点接続	にぎわい活力拠点(郷土の森公園周辺)への接続	市内の主要拠点への接続	需給課題への対応 郷土の森ルート(仮称)にて、維持困難路線(府52/分52/府61)との統 合(府中駅～郷土の森総合体育館/府中駅～是政駅の区間)。

06 東部地域の再編内容

東部地域				
	課題	課題の内容	再編の方向性	再編内容
北東部の再編	重複課題 多磨町ルートA・B・C・D・E・F	府中三郵便局～ルミエール府中(府02・寺92・武73) 天神町二丁目(武71) 東府中駅～人見街道入口(府75) 多磨公園表門(武85・武95・磨01) 府中駅 東府中駅(京王線・押立町ルート・朝日町ルート)	ちゅうバス多磨町ルートの周辺路線バスとの重複解消・効率化	重複課題への対応 路線バス(府75)を維持し、重複している多磨町ルートの府中工業高校～人見街道入口の区間を停車せずに運行することを検討。 府中駅～東府中駅の区間は廃止し、府中の森循環(仮称)に再編。
	長大課題(低)・収支課題(低)多磨町ルート	路線長:13.50km 所要時間:府中駅 多磨町30分/府中駅～府中駅82分 収支率:51%		長大課題への対応 上記区間の廃止に伴い、最寄り駅接続では路線延長は13.5kmから多磨町ルート7.2km、府中の森循環5.9kmに短縮。所要時間は、82分から多磨町ルート40分、府中の森循環27分に短縮。
	拠点接続	文化スポーツ拠点(府中の森公園・府中基地跡地留保地周辺)への接続		市内の主要拠点への接続
南東部の再編	重複課題 朝日町ルートA・B・C・D・E・F・G	府中町二丁目(府02・武73・武71・寺92) 終着付近 東府中駅(府75) 白糸台一丁目(武85・武95・磨01) 榊原記念病院～多磨駅(調33・飛02・磨52) 白糸台三丁目(磨52) 府中駅 東府中駅(京王線・多磨町ルート・押立町ルート)	ちゅうバス朝日町ルートの周辺路線バスとの重複解消・効率化	重複課題への対応 路線バス(調33/飛02/磨52)を維持し、重複している朝日町ルートの白糸台～多磨駅の区間を最寄り駅接続路線、府中駅接続路線とともに廃止、白糸台循環(仮称)として再編。 府中駅～多磨公園駅入口の区間は、最寄り駅接続路線では廃止、白糸台循環(仮称)として再編。
	長大課題(高)・収支課題(低)朝日町ルート	路線長:15.84km 所要時間:府中駅 多磨駅32分/府中駅～府中駅76分 収支率:52%		長大課題への対応 上記区間の廃止に伴い、最寄り駅接続路線の路線延長は15.84kmから5kmに短縮。所要時間は、76分から25分に短縮。
	重複課題 押立町ルートA・B・C・D	車返団地(磨52) 押立町5丁目、押立神社(調51) 府中駅 東府中駅(京王線) 府中駅～清水ヶ丘二丁目(是政循環)		ちゅうバス押立町ルートの周辺路線バスとの重複解消・効率化
長大課題(高)・収支課題(高)押立町ルート	路線長:16.83km 所要時間:府中駅 武蔵野台駅南口36分/府中駅～府中駅54分 収支率:46%	重複課題への対応 府中駅～清水ヶ丘二丁目の区間は、最寄り駅接続路線では廃止。  長大課題への対応 武蔵野台駅を最寄り駅とする押立町循環(仮称)を設定。これにより、最寄り駅接続の路線延長は16.8kmから4.7kmに短縮。所要時間は、76分から24分に短縮。 競艇場前駅～東府中駅を接続する小柳町ルート(仮称)を設定。これにより、最寄り駅接続の路線延長は16.8kmから6.2kmに短縮。所要時間は、76分から28分に短縮。  収支課題への対応 上記路線延長の短縮に伴い、1年当たりの想定経費が、万円から 万円で減少予定。  需給課題への対応 府中駅行き需要を踏まえ、府中駅接続路線では、押立町一丁目～武蔵野台駅南口の区間を短絡化したうえで、府中駅接続を維持。		



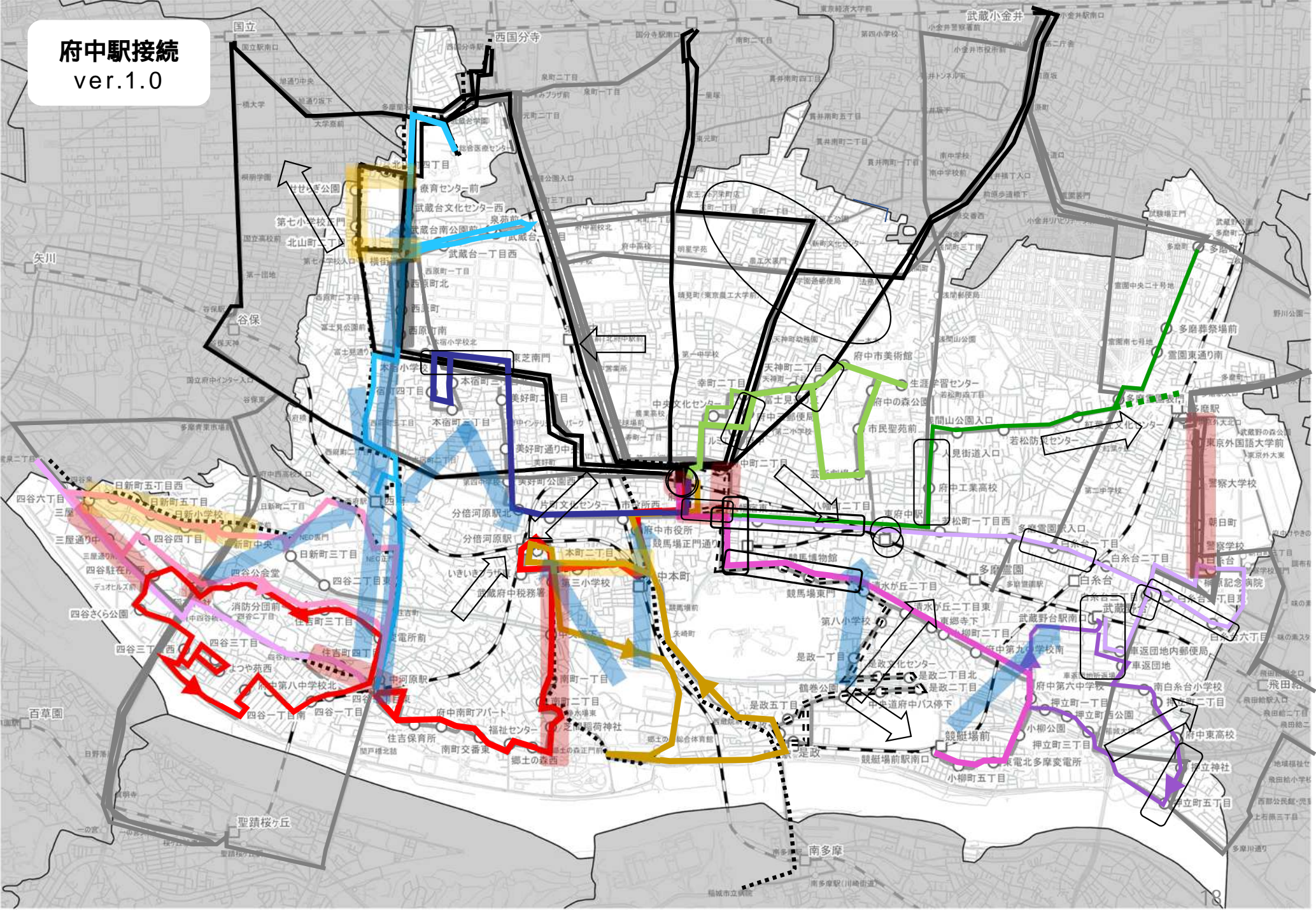
最寄り駅接続  
ver.1.0





(参考)移動ニーズ課題・重複課題への対応(府中駅接続)

府中駅接続  
ver.1.0





(参考) 現行ルートの日あたりの停留所ごとの利用状況



07 運賃設定の考え方

再編計画検討の基準(抜粋) (府中市地域公共交通計画79頁)	○コミュニティバス運賃の見直しにおいては、評価指標「市中心部に接続する公共交通(鉄道・路線バス・コミュニティバス)の1日当たりの利用者数」や評価指標「コミュニティバスの収支率」の目標値を踏まえて検討すること。 ○コミュニティバスに関する再編を行う際は、府中市コミュニティバス検討会議報告書(平成31年3月)の内容に留意すること。
-----------------------------------	---

府中市コミュニティバス検討会議報告書 2頁

「ちゅうバスの運賃収入から運行経費の差額は、府中市が補助金で補填しており、その金額は近年では約1億円にのぼる。適正な受益者負担の観点から、事務事業点検においても運賃見直しの必要性が指摘されている。」



[現在の状況を踏まえた補正]  
 令和元年度 補助金額 1億3,872万5千円:150円  
 約26%の増額  
 令和4年度 補助金額 1億7,527万2千円:189円

	現行		合意内容
運賃	100円		150円
割引制度	なし		なし
回数券	21枚つづり 2000円		21枚つづり 3000円(2000円)
未就学児	無料		無料
高齢者 70歳以上	100円		100円
障がい者 各障害者 手帳をお持ちの方	100円		100円
子ども 小学生	100円		100円
ICカード	未導入		導入する

平成31年3月時点の合意内容  
 ICカードは導入済み

検討の方向性	府中市コミュニティバス検討会議報告書の合意内容を現在の状況に応じて補正して検討することを基準とする。
配慮すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃変更による利用者数への影響(逸走率)</li> <li>・路線バス運賃より安価に設定した場合の地域間格差</li> <li>・運賃に応じた運行方法の設定(運行補助・独立採算など)</li> <li>・将来的な運行経費の増大を見込んだ段階的な料金設定</li> <li>・改正道路運送法に基づく運賃協議会・住民意見の反映</li> </ul>
今後	運賃設定は、上記の基準と配慮すべき事項を踏まえ検討を行い、令和6年度第1回の協議会で運賃設定の考え方を改めて審議予定。